

こま い 補 少

筆 慶 永 上 司 別 當 大 寺 東 第 215 世

第72号
発行

署 警 察 駒 生
協 會 員 導 補 少 年

和 令 4 年
8 月



令和四年度生駒警察署少年補導員協会定時総会および委嘱状交付式が七月十三日（水）に生駒警察署三階研修場にて開催されました。二三名の会員の出席をいただき、事前に提出された委任状も含め、すべての議案審議は滞りなく終了いたしました。

会員の皆様のご協力ご支援に厚くお礼申し上げます。

令和四年度 生駒警察署少年補導員協会 定時総会

その後の講習会では、奈良警察本部少年課少年サポートセンター所長補佐の吉川紀子様をお迎えし、ご講演いただきました。



これからも地域の皆様と連携し活動を行っていく所存です。本年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。

（会長 有山 豊茂）

◆ 令和四年度事業計画

一、街頭補導活動の推進

（一）毎月第3金曜日を県下一斉の「少年サポート強化デー」に指定。生駒警察署生活安全課との連携のもと街頭補導活動を行う

（二）非行少年等に対して、立ち直り支援活動を行う

二、少年を取りまく有害環境浄化活動

（一）非行少年等のたまり場の発見と排除活動の推進

（二）店舗等、営業者に対する少年の非行防止協力要請

（三）紙芝居による「誘拐被害防止」啓発活動の推進
（女性部）

（四）児童生徒の被害防止活動の推進

（五）インターネット上の違法情報・有害情報から子どもを守る活動の推進（フィルタリングの利用促進）

三、青少年健全育成活動

（一）少年の社会活動への参加協力

（二）「青少年健全育成」地域活動への参加

四、地域住民に対する少年を見守る社会気運を高めるための広報啓発活動

（一）ポスター・チラシ等の作成配布活動

（二）街頭における広報啓発活動の実施

（三）機関誌「少補いこま」の発行（年2回）

（四）SNS利用による被害防止についての啓発活動の推進

五、生駒警察署の年間行事への参加協力

六、少年補導員の資質・技能向上と少年補導員相互の

親睦を図るための研修会を開催

七、その他

電話口、お金の話、それは詐欺!!

着任にあたって

生駒警察署長

かわもと まさみ
川本 勝実



本年三月二十五日付で生駒警察署長に着任しました川本です。

皆様には、平素から警察活動の各般にわたり深いご理解とご協力を賜りありがとうございました。特に、少年の健全育成を目的とした諸活動に中心となつて精力的に取り組んでおられることに對しまして敬意を表しますとともに、重ねて感謝を申し上げます。

私は、平成元年から三年間、留置場の看守として当署で勤務させていただいたことがあり、生駒の地とは何かしらのご縁を感じております。今回の着任にあたり、微力ではありますが、生駒の治安維持に全力で取

り組んでまいりる所存であります。

また、前回勤務した当時は、看守勤務ということもあり一般の皆さんとの接点はほぼ有りませんでした。今回は管内の多くの皆さんと交流する機会があると思ひますので楽しみにしております。

さて、近年インターネットの普及を始め様々な新しい技術の開発や進歩により、私達が暮らす社会は様々な面で昔とは比べものにならないほど便利になりました。他方、犯罪情勢については、地域住民の皆さんとの協働により、治安の指標の一つである刑法犯認知件数は着実に減少し、数字だけ捉えれば治安が格段に良くなったようにも見えます。

しかし、その中身を見てみますと、振り込め詐欺を始めとした特殊詐欺やサイバー犯罪など新たな手口の犯罪の出現や、DV・児童虐待・ストーカーなどの人

身安全事案、大麻などの薬物乱用者の低年齢化など新たな課題も生じております。特に少年関係では、昨年は大麻事件等の薬物乱用が過去十年で最多を記録したほか、少年が特殊詐欺に加担する事案が依然として発生するなど予断を許さない状況にあります。

少年補導員の皆様方は、少年を加害者にも被害者にもさせない

○ 少年達が居場所を得て、成長・活躍できる社会を目指す

などを目標に、地域に根差した活動を実施していただいており、少年達、保護者、ひいては我々警察にとつても頼もしい存在となっております。

言うまでもなく、少年は将来の社会を支える存在であり財（たから）です。そんな少年達が、犯罪に巻き込まれ、或いは、様々な誘惑に惑わされて道を踏み外す、また、踏み外してしまひそうになった時、手を差し伸べ、正しい方向へ導いてやるのが、人生の先輩である我々大人に与えられ

た役割ではないでしょうか。

皆様と我々の目指すところは同じです。今後も引き続き警察の行う各種活動に對しまして、ご支援・ご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

最後に少年補導員協会及び少年補導員の皆様の益々のご発展とご健勝を祈念申し上げまして、着任の挨拶とさせていただきます。

生駒警察署副署長

こたに あつし
小谷 篤



この春の人事異動で生駒警察署副署長に着任しました小谷でございます。

少年補導員の皆様におかれましては、平素から各種活動に深いご理解とご協力を賜り、心から御礼申し上げます。

私は、平成十六年から二年間、生駒警察署の刑事課

で勤務した経験があり、このたび、約十五年ぶりに、この歴史と文化が調和した生駒市で勤務させていただけることに、大きな喜びを感じています。

ただ、この十五年間で、生駒市内における犯罪情勢は大きく変化しており、犯罪の発生件数自体は大幅に減少しているものの、以前は空き巣などの窃盗事件が中心であったものが、現在は高齢者を狙った特殊詐欺事件がそれに取って代わり、市民の皆様の生活を脅かす大きな要因となっています。また、少年犯罪につきましても、自転車やオートバイなどの窃盗事件が中心であったものが、現在は十代の若者が特殊詐欺に加担して逮捕されたり、インターネットを使った犯罪や覚醒剤、大麻などの薬物犯罪に手を染めるなど、少年を取り巻く情勢も大きく変化しています。

こうした現状を踏まえ、生駒警察署では、

- 街頭補導活動の強化
- 薬物乱用防止教室の開催

レターパック・ゆうパック・宅配便等で「現金送れ」はすべて詐欺!!

○ インターネットを使つた非行・被害防止教室の開催

等、各種施策に積極的に取り組んでいるところであります。

今後、少年の健全育成と市民の皆様が安全で安心して暮らせる街づくりに貢献できるよう、署員一丸となつて治安維持に取り組んで参りますので、どうか皆様方におかれましても、引き続き各種警察活動へのご支援とご協力をお願いいたします。

結びに、生駒警察署少年補導員協会の益々のご発展と各位のご健勝を祈念申し上げ、着任の挨拶とさせていただきます。



生駒警察署生活安全課長

かない だいすけ
金井 大典



今春、生駒警察署生活安全課長として着任しました金井でございます。

今から十二年前、生駒警察署の生活安全課で勤務しておりました。少年補導員の皆様と巨大な紙芝居を見せに幼稚園、保育園へ行つたこと、一緒に「いかのおすし一人前」を歌って踊つたことを覚えています。

それから干支が一周りしましたが、当時から猛威を奮っていた特殊詐欺が姿を変えながらも今も脅威となつています。

少年の健全育成に地域社会の声掛け、つながり、連帯感が重要なことはもちろんですが、特殊詐欺の防止にも地域の絆が大変重要です。「近所でこんな電話があったらしいよ」「怖いねー」という世間話が、実際に電話がかかってきた時の防波堤

となり、被害防止につながります。

生活安全課長として地域の絆醸成に貢献できるような精一杯、力を尽くす所存です。どうぞよろしくお願い致します。

生駒警察署生活安全課

安全総務係長

なかむら かおり
中村 香織



今春、生駒警察署生活安全総務係長として赴任しました中村と申します。

久しぶりの警察署勤務であり、また、道を覚えることを苦手としている身でありまして、生駒市内の曲がりくねった坂道に悪戦苦闘しながら毎日勤務しています。

少年補導員の皆様の活躍ぶりは、以前から聞知しておりました。一緒に活動させていただいている今は、

皆様方が各々の得意分野を生かしつつ、楽しみながら活動されている様子を目の当たりにするにつけ、頼もしく、ありがたく感じています。

生駒市民の皆様は、防犯活動にも熱心に取り組んでいただいています。庭の手入れをしながら、散歩をしながら、ご近所の方々と世間話をしながら、無理をせず、楽しみつつ活動を続けていただければと思います。

生駒警察署員一丸となつて、一人でも犯罪被害に遭われる方を減らせるよう取り組んで参ります。

生駒警察署生活安全課

安全総務係員

もりおか しんたろう
森岡 伸太郎



この度の人事異動で生駒警察署生活安全総務係の係

員として着任致しました森岡と申します。私はこれまで天理署、橿原署、香芝署、奈良署、郡山署と多くの警察署で勤務させていただいており、生駒警察署で六署目となります。

署を異動になるという事は地理も一から覚え直し、人間関係も新しく作っていかねければならないという点で、正直「また異動か」という気持ちになる事もありました。しかし、荷物をまとめて署を引っ越す際にはいつも、歩いた場所や関わってくれた方達を思いだし、「異動したくないなあ」と感慨深い気持ちになります。それぞれの署では苦しかった思い出も良い思い出もありますが、今ではどれもが自分の財産になっています。

生駒警察署で何年勤務できるかわかりませんが、生駒市民の方々の安全、安心な生活を守るために力を尽くしていきたいと思っておりますので、どうかご指導、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い致します。

「融資する」「必ずもうかる」それは詐欺!!

少年健全育成 奈良県カンファレンス 補導員研修会 報告記

日時 令和四年七月三日
場所 いかるがホール

新型コロナウイルス感染症予防のため人数制限・マスク着用・ソーシャルディスタンスをとり規模を縮小した三年ぶりの開催となりました。主催者ご挨拶に続き、令和四年度功労者表彰では生駒署管内から鉄東祖愛（てつとうひろちか）氏が個人の部で表彰されました。少年補導員活動に関する講習会の後、基調講演が行われました。



おめでとーございます

基調講演

【救えたはずの命と向き合う】

命と向き合う

講師 安永 智美 氏

元福岡県警察官、現在は少年育成指導官として日々活動されている講師が、まず最初に言われたのは「救えなかった命ではなく救えたはずの命」と考えて活動されているとの事です。同時に、警察、教育委員会、児童相談所の三組織を同一フロアに置き、即時の行動連携を強調されています。ある調査研究によると、虐待は子どもの脳の成長を阻害します。具体的には、性的虐待は視覚野を小さくし、暴言は聴覚をつかさどる部位を変形させ、体罰は前頭前野を委縮させます。イジメの対応としては、被害者のみならず加害者の自尊感情の育成に取り組みます。非行少年との会話は時間をかけ言葉を選んで根底にある悩みを聞き出し共感し心を開くように対応されています。

また、不適切な家庭の教育環境がうかがわれるならば、把握した関係機関が保

護者に対して明確に指摘し改善を促してこそ子どもの最善の利益が図られることになります。それにより、親との良好な関係性が壊れることがあってもこれに配慮しすぎるべきではありません。そもそも指摘、改善要望で壊れるぐらいの保護者との関係性なら、本来子どもの利益を図るために親との間に築くべき関係性とは言えないとの事でした。

「困った子」は、実は「困っている子」



小さなサインを見逃さない



SOSをキャッチしたら

「誰か・何を」だけ聞く
(根掘り葉掘り聞かない)

警察・児童相談所に
引継ぐ

「話してくれてありがとう」
「悪いのはあなたじゃないよ」

やってはいけないNG集

・大きく驚いたり嘆いたりする

↓(発言の撤回につながる)

・「どうして?」「なぜ?」「忘れなさい」

↓(被害者を追い詰める)

自尊感情を育むために

*乳児期が一番大事!

◆聴く⇨共感

(喜び、悲しみ、怒り)

◆誉める⇨親の笑顔

(すごいね)

◆叱る⇨教える

(我慢・待つ・守る)

◆伝える⇨感謝

(ありがとう)

◇最後に、印象に残った安永氏の言葉をここに引用させていただきます。

「子どもは、どんな大人と出会えるかで、その子の未来が変わります」



緑化活動は、女性部が20年以上継続しておこなっている活動の1つです。



6月、署や駐在所、交番に植栽しました。目下の課題は、猛暑に負けない花苗の選定です。

息子から、「電話番号変わった」それは詐欺!!